

そよぐ風 短歌

杉並退教 和久 優一

絶滅の危機を生きおり基地の辺の
わずかな草食み痩せたるマゲシカ

窓に見る空がじわじわ削られる

大型マンション建設たけなわ

知らぬ間に蜘蛛の巣張りり石臼の

つき手返し手無き年の暮れ

戦争のできる国からする国へ

廊下の奥をじっと見つめる

■[もとのページに戻すには画面上の←をクリック](#)

